

## 製品化・実用化の状況（平成 30 年度実施）

調査対象：本補助事業の採択事業のうち平成 25 年度から平成 29 年度に技術開発が終了した事業者

調査期間：平成 30 年 12 月 13 日（木）～平成 30 年 12 月 28 日（金）

<製品化・実用化の状況> ※複数回答あり

出荷の有無を問わず製品化されているものは 15 件（25%）となり、固有の製品化以外に「既往の製品に要素技術として反映」しているものも 3 件（5%）みられる。また、16 件（26%）は「引き続き技術開発中」となっている。

選択肢	件数	割合
1. 既に製品化・実用化し、出荷している	9 件	15%
2. 既に製品化・実用化しているが、出荷実績はない	6 件	10%
3. 販売・量産化に向け生産体制を整えた（または整備中）	6 件	10%
4. 具体的な製品化・実用化に向け、試作品を作成した（または作成中）	8 件	13%
5. 製品化・実用化に向け引き続き技術開発中	16 件	26%
5. 既往の製品に要素技術として開発成果を反映（機能拡充や製品改良に貢献）	3 件	5%
7. 製品化・実用化することを取りやめた	3 件	5%
8. その他	11 件	18%

<論文掲載・特許取得等の状況>

論文掲載については、各応募提案者とも積極的に行われており、一つの提案で数十件の論分を発表したのもみられる。

項目	件数／事業数	
論文掲載	141 件／26 事業	
新聞・雑誌・各種メディアへの掲載	61 件／13 事業	
特許取得	申請中	20 件／13 事業
	取得済	21 件／8 事業